

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)ガバナリングボード構成員

令和2年4月1日付

【ガバナリングボード座長】



橋本 和仁

国立研究開発法人物質・材料研究機構理事長
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員

【構成員】



上山 隆大

元政策研究大学院大学教授・副学長
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員



梶原 ゆみ子

富士通株式会社 理事
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員



小谷 元子

東北大学理事・副学長
東北大学材料科学高等研究所 主任研究者
兼 大学院理学研究科数学専攻教授
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員



小林 喜光

株式会社三菱ケミカルホールディングス 取締役会長
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員



篠原 弘道

日本電信電話株式会社 (NTT) 取締役会長
(一社)日本経済団体連合会副会長・
デジタルエコノミー推進委員会委員長
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員



松尾 清一

国立大学法人東海国立大学機構機構長
名古屋大学総長
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員



山極 壽一

日本学術会議会長
内閣府 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員

SIP—これまでの経緯

2013年	
8月	内閣府計上の調整費(科学技術イノベーション創造推進費*1)を概算要求
9月	国家的・経済的重要性等の観点から総合科学技術会議が10の課題候補を決定 助言・評価等を行うガバナリングボード(総合科学技術会議 有識者議員にて構成)を設置
10月	内閣府が各課題の政策参与*2を公募
12月	政策参与を決定。政策参与が中心となって研究開発計画を作成
2014年	
2月	公開ワークショップ
3月	事前評価
4月	研究開発計画をパブリックコメント
5月	総合科学技術・イノベーション会議において、課題、プログラムディレクター(PD)、予算配分を決定
6月	PD 10名を任命、各省に予算移し替え、研究機関の公募開始
7月~	公募締切、選定作業(書類・面接)
8月~	採択課題、研究開発機関を決定し、研究開発体制を構築
10月~	各課題の研究開発を本格化
12月	SIPシンポジウム2014開催
2015年	
3月	平成26年度末評価
4月	平成27年度当初予算配分を決定
6月	「重要インフラ等におけるサイバーセキュリティの確保」が総合科学技術・イノベーション会議にて新規課題候補として承認 PD候補(政策参与)の公募
8月	新規課題候補のPD候補(政策参与)の任命
10月	SIPシンポジウム2015開催
11月	「重要インフラ等におけるサイバーセキュリティの確保」が総合科学技術・イノベーション会議にて新規課題として承認

2016年	
1月	平成27年度末評価
3月	平成28年度当初予算配分を決定
10月	SIPシンポジウム2016開催
2017年	
1月	平成28年度末評価、SIP制度中間評価
3月	平成29年度当初予算配分を決定
9月	SIPシンポジウム2017開催
2018年	
1月	平成29年度末評価
3月	SIP第2期12課題の決定、PDの公募 平成30年度当初予算配分を決定
7月	SIP第2期12課題の研究開発計画案の承認
12月	平成30年度末評価(第1期)
2019年	
1月	平成30年度末評価(第2期)
2月	SIP制度最終評価 2019年度当初予算配分を決定 SIPシンポジウム2018開催
5-6月	臨時課題評価
9-11月	SIPワークショップ2019開催
2020年	
1-2月	令和元年度末評価
2月	令和2年度当初予算配分を決定
5月、7月	臨時課題評価

*1 平成26年度政府予算案で、500億円を計上(このうち35%(175億円)を医療分野の研究開発関連の調整費として充当)
*2 内閣府非常勤職員。プログラム開始後はPD